

MySQL 5.1.61 リリースノート（日本語翻訳）

修正されたバグ

- **InnoDB ストレージエンジン**: 同時スレッドから **InnoDB** テーブルに対する **INSERT...ON DUPLICATE KEY** ステートメントを発行すると、特に **INSERT...ON DUPLICATE KEY UPDATE** フォームの場合は、**デッドロック**が発生した。この問題は、複数の **INSERT IGNORE** ステートメントを発行する場合にもトリガされる可能性があった。この修正で、複数のトランザクションが同じ行にアクセスすることによって発生するデッドロックが回避される。複数のトランザクションが一貫性のない順序で複数の行を同時に挿入および更新するときは、現在もデッドロックが発生する。このタイプのデッドロックに対しては、アプリケーションの側でトランザクションを再試行する標準のエラー処理が必要である (Bug #11759688、Bug #52020、Bug #12842206)。
- **InnoDB** 表明が正しくないためにサーバが停止する可能性があった。この問題はデバッグビルドにのみ影響した。この表明は、ソースファイル **btr0pcur.ic** と変数 **cursor->pos_state** を参照していた (Bug #13358468)。
- アンセーフな関数の呼び出しが原因で、**mysqld** における **handle_segfault()** シグナルハンドラコード自体がクラッシュする可能性があった (Bug #54082、Bug #11761576)。
- **ARCHIVE** テーブルに **NULL** カラムがあると、同時負荷がかかる際にサーバがクラッシュする、または破損する可能性があった (Bug #51252、Bug #11758979)。
- **myisam use mmap** を有効にすると、サーバがクラッシュする可能性があった (Bug #48726、Bug #11756764)。
- **ARCHIVE** テーブルが、同時アクセスによって破損する可能性があった (Bug #42784、Bug #11751793)。

※本翻訳は、理解のための便宜的な訳文として、オラクルが著作権等を保有する英語原文を NRI の責任において翻訳したものであり、変更情報の正本は英語文です。また、翻訳に誤訳等があったとしても、オラクルには一切の責任はありません。